



平成30年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月5日

上場会社名 丸八倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9313 URL <http://www.maru8.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 兼 情報システム部長 (氏名) 宮沢 浩元

TEL 03-5620-0809

四半期報告書提出予定日 平成30年10月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第3四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	3,694	5.2	425	10.3	393	0.5	254	45.5
29年11月期第3四半期	3,510	4.7	385	22.0	392	18.4	467	31.7

(注)包括利益 30年11月期第3四半期 112百万円 (80.7%) 29年11月期第3四半期 581百万円 (97.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	43.71	
29年11月期第3四半期	64.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第3四半期	16,026	9,062	56.4
29年11月期	14,771	9,043	61.1

(参考)自己資本 30年11月期第3四半期 9,038百万円 29年11月期 9,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		16.00	16.00
30年11月期		0.00			
30年11月期(予想)				16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	2.7	540	13.3	500	3.2	320	33.7	54.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年11月期3Q	7,300,000 株	29年11月期	7,300,000 株
30年11月期3Q	1,466,754 株	29年11月期	1,466,754 株
30年11月期3Q	5,833,246 株	29年11月期3Q	7,289,457 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響のほか、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意を要する状況ながら、企業収益に改善の動きがみられ、設備投資にも増加の動きがみられたほか、雇用・所得環境も改善傾向にあり、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。

このような経済情勢にあって、物流業界におきましては、保管残高数量・金額とも前年同月比増加に転じる等、国内貨物の荷動きに回復傾向がみられるものの、競争の激化等もあり、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましては、需給改善の兆しはあるものの賃料水準の本格的回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは顧客ニーズの的確な把握と適切な管理を徹底してまいりました。物流事業における具体的施策として、平成28年に竣工した千葉県八街市の新規倉庫の稼働率が順調に向上しつつあるほか、既存倉庫についても安定的に稼働しており、保管料収入の増加に努めてまいりました。このほか、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。また、不動産事業における具体的施策として、仙台市の賃貸マンション2棟が安定的に稼働しており、清澄の賃貸マンションも計画通り平成30年2月から稼働しているほか、平成30年4月に仙台市の賃貸オフィスビルを取得し、収益基盤の増強が図られつつあります。

この結果、売上高は物流事業ならびに不動産事業ともに増収となり前年同期比184百万円(5.2%)増の3,694百万円となりました。また、営業利益は減価償却費や修繕費等の増加はあったものの前年同期比39百万円(10.3%)増の425百万円となり、経常利益は支払利息等の増加はあったものの前年同期比1百万円(0.5%)増の393百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比212百万円(45.5%)減の254百万円となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

物流事業

物流事業では、保管料等が増加したことにより、売上高は前年同期比48百万円増の3,370百万円となりました。セグメント利益は修繕費等が増加したものの前年同期比9百万円増の674百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、不動産賃貸料が増加したことにより、売上高は前年同期比135百万円増の324百万円となり、セグメント利益は前年同期比62百万円増の109百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、清澄の賃貸マンション竣工や仙台市の賃貸オフィスビル取得に伴う有形固定資産の増加により前期末比1,255百万円増加の16,026百万円となりました。負債は、長期借入金の増加により前期末比1,236百万円増加の6,964百万円となり、純資産は前期末比19百万円増加の9,062百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成30年1月12日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,865	830,214
受取手形及び営業未収入金	310,336	335,188
繰延税金資産	30,604	30,604
その他	160,223	386,004
流動資産合計	1,537,031	1,582,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,155,627	6,951,921
機械装置及び運搬具(純額)	156,801	158,252
土地	4,803,413	5,074,252
建設仮勘定	1,663,880	-
その他(純額)	206,338	229,842
有形固定資産合計	10,986,062	12,414,268
無形固定資産		
借地権	72,372	72,372
その他	40,733	36,976
無形固定資産合計	113,105	109,348
投資その他の資産		
投資有価証券	1,594,118	1,387,395
従業員に対する長期貸付金	1,809	921
差入保証金	476,449	476,236
会員権	9,978	9,978
繰延税金資産	23,981	23,768
その他	28,907	23,033
投資その他の資産合計	2,135,245	1,921,333
固定資産合計	13,234,413	14,444,951
資産合計	14,771,444	16,026,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	138,527	116,544
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	436,958	580,676
繰延税金負債	162	162
未払金	20,562	7,232
未払費用	99,862	39,928
未払法人税等	99,272	54,955
未払消費税等	148,265	9,418
前受金	156,610	157,365
賞与引当金	-	25,170
その他	9,461	9,372
流動負債合計	1,209,683	1,100,827
固定負債		
長期借入金	3,124,442	4,503,339
繰延税金負債	680,850	617,551
役員退職慰労引当金	118,386	134,137
退職給付に係る負債	33,147	13,193
長期預り保証金	537,724	571,627
その他	23,517	23,517
固定負債合計	4,518,068	5,863,366
負債合計	5,727,751	6,964,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	5,289,799	5,451,454
自己株式	△1,275,062	△1,275,062
株主資本合計	8,589,273	8,750,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431,374	287,950
その他の包括利益累計額合計	431,374	287,950
非支配株主持分	23,044	23,891
純資産合計	9,043,692	9,062,769
負債純資産合計	14,771,444	16,026,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	3,510,748	3,694,874
売上原価	2,676,080	2,804,662
売上総利益	834,667	890,212
販売費及び一般管理費	449,321	465,187
営業利益	385,345	425,024
営業外収益		
受取利息	358	387
受取配当金	19,563	23,349
その他	2,856	3,826
営業外収益合計	22,778	27,563
営業外費用		
支払利息	14,056	24,161
支払手数料	2,019	34,433
その他	38	-
営業外費用合計	16,115	58,595
経常利益	392,008	393,992
特別利益		
有形固定資産売却益	293,201	9
特別利益合計	293,201	9
特別損失		
有形固定資産除却損	3	474
出資金清算損	-	5,331
特別損失合計	3	5,805
税金等調整前四半期純利益	685,206	388,196
法人税等	216,975	132,363
四半期純利益	468,231	255,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	718	846
親会社株主に帰属する四半期純利益	467,512	254,986

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	468,231	255,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,524	△143,424
その他の包括利益合計	113,524	△143,424
四半期包括利益	581,755	112,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581,036	111,562
非支配株主に係る四半期包括利益	718	846

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,321,757	188,990	3,510,748	—	3,510,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,321,757	188,990	3,510,748	—	3,510,748
セグメント利益	665,619	46,452	712,071	△326,726	385,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△326,726千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,370,532	324,341	3,694,874	—	3,694,874
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,370,532	324,341	3,694,874	—	3,694,874
セグメント利益	674,720	109,241	783,962	△358,937	425,024

(注) 1. セグメント利益の調整額△358,937千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。